

ふるさと の155 誇り



博しレポート

道祖神さんが守るもの



石祠 中野
石で造られた祠は県西部で多くみられる。

複数の丸石 下高砂
丸みのある自然石を複数組み合わせている。

丸石 有野
球体の石を用いる。県内全域で見られ、山梨の特徴と言える。



双体像 下今井
信州に多いとされる双体像は本市では数例にとどまる。

市内各地域を歩いてみると、道すがらたくさん石造物に出会います。中でも、どの地区でも必ず出会うのが「道祖神さん」です。その数は市内で190地点以上のぼるようです。

南アルプス市で道祖神というと、どんど焼きやお飾りなど、小正月の道祖神祭りを思い起こす方が多いと思います。厄除けや無病息災、子授け、五穀豊穡など、村人のさまざまな願いが込められています。

道祖神は道端にあつて、道を行き交う人々を見守る神様と考えられることが多いのですが、道と道が交わる辻にあつたり、それが集落の境界や入り口であることから、疫病神、厄神、悪霊などが外部から集落に侵入してこないように、塞(ふさ)いで村人を守つていただくという願いも込められています。村人の幸せを守る神様なのです。

飯野地区などでは、夏に道祖神場を飾つて、夏の道祖神祭りが行われています。これも、元々は夏場に流行する疫病が集落に入ってくるのを防ぐという願いが込められた風習と考えられています。

また近世には、感染症である天然痘を防ぐ目的で疱瘡神(ほうそうがみ)が祀られることもあり、上今井地区のように道祖神場に祀られる場合もあります。これらのように道祖神は各集落(かつての小路で

この場合が多い)ごとに祀られているため、市内各地でこれほど多く存在するのです。

道祖神のご神体は石造物が多く、山梨県では球体の石(丸石)を祀ることが多いのが特徴です。南アルプス市内では、自然石を用いたものが多く、他には丸石や丸みのある自然石、石祠、お宮の造りをしたものなどがあります。双体像も数カ所で見られます。

道祖神さんは私たちに最も身近な存在と言える神様です。ただ、地域には、氏神様と呼ばれる神社のほか、お稲荷さんや秋葉さん、山の神さんなど多くの神様が祀られていますので、実は道祖神さんがどれか知らないという声も多く聞きます。また、道路の工事などに伴つて移動していることもあり、余計にわかりにくくなつてきているようです。ただし、道祖神を観察してみると、江戸時代の年号が刻まれているものや、平成に修理したものまであり、移動しながらも、長い年月をかけて大切に受け継がれてきたことが伝わってきます。

隣の地域の道祖神さんを気にすることもなかったでしょうから、このような情勢を機に、村人の幸せを守つてきたご近所の神様を、訪ねてみてはいかがでしょうか。

写真・文 文化財課



百々地区には道の神とされる「猿田彦命」と刻まれているものもある。

上今井の道祖神場には疱瘡神塔も祀られている。

飯野地区での夏の道祖神祭の様子。

平岡地区は全ての小路でお宮の造りをし、小正月のお飾りが特徴的である。



自然石・文字碑
南アルプス市で最も多いのは、丸石ではなく自然石を用いたものである。ただし、球体に近く、丸石を意識したであろう自然石も多くみられる。また、自然石の表面に文字を刻むものも多くあるが、板状の碑は少ない。

東落合には、道の神である「甞(ちまた)大神」と刻まれている。

●...道祖神
●...市役所・各地区窓口サービスセンター

※道祖神の位置(白丸)を示した図ですが、現在も継続して調査しており、把握できた分だけになります。かつての場所から移動したものや、記録もれもあると思います。ぜひ、移動や記録もれなどの情報はふるさと文化伝承館(282-7408)へご連絡ください。